

事業の実績	<p>熊本学園大学経済学部・九州財務局編『熊本経済と財政・金融：大学と九州財務局による提案型授業の成果』を2023年2月25日に勁草書房から出版した。</p> <p>同書は、全12章と経済学部長及び九州財務局長によるまえがきと経済学特講受講者によるコラムから構成されており、索引まで含めて241ページである。執筆者は2022年度春学期開講の経済学特講を担当した本学経済学部の教授陣と九州財務局各部署の専門職員11名である。</p>
具体的な成果	<p>本書は平成26（2014）年度から令和4（2022）年度まで熊本学園大学経済学部で行われてきた熊本学園大学経済学部と九州財務局による共同授業の成果である。</p> <p>巷間の大学と外部講師による連続講義は特に目新しくはないが、熊本学園大学経済学部と九州財務局による特別講義は、講義内容に触発された学生たちが自らテーマを選び、それに基づいて、政府への政策提言を含むプレゼンテーションをすることで完結することに大きな特徴がある。講義内容は日本や熊本の財政や金融から今日的なテーマまでを含む財務局の専門家職員と本学教授陣による真のコラボレーションの結実である。学生はこれらの素材をもとに問題を見つけ解決を図る教育現場で注目されている「アクティブ・ラーニング」（能動的学習）あるいは、PBL（Problem Based Learning）を体験・実践し、叡智を備えて世の中で活躍することになる。以上のような特別講義録の出版は、官と学の新しいタイプの共創として大いに注目を浴びるに違いない。</p> <p>具体的な講義のすすめ方はこの経済学特講の初年度に受講した当時熊本学園大学経済学部生であった坂本竜之介氏（現在、九州財務局職員）の本書のなかのコラムに詳しく記載されている。坂本氏のように本講座を受講し触発され公務員になった卒業生を多く輩出している。</p> <p>われわれの以上のような取り組みは、これまで『熊本日新聞』2015年8月7日朝刊「九州財務局と熊本学園大学コラボ」などメディアに取り上げられ、世間からも注目されている。また、地方の財務局による地域連携のユニークな取り組みとして財務省のサイトでも紹介されてきた。本書の出版は、経済学部と九州財務局による経済学特講の9年間の集大成であり、今後の経済学特講の基盤として活用されるとともに、熊本経済の財政・金融を学ぶ際の基礎的な文献となることが期待される。</p>